

# 那賀川水系の未来を考える勉強会について 王子製紙(株)

- 開 催 日：3月6日(月) 13:00~14:10
- 参 加 者：王子製紙(株)社員 14名
- 説明者(随行者)：那賀川河川事務所長(徳島県、阿南市、那賀川河川事務所)

## ○説明内容

### 1. 近年の水災害対策について

- ・気候変動による影響や社会への変化を踏まえ、流域の関係者全員が協働して「流域治水」へ転換する重要性を説明。

### 2. 那賀川流域の概要と水災害に係る特性

- ・那賀川流域の概要や地形を踏まえ、人々の暮らしの場が旧河道や低地に進出し、水害リスクが増加している状況を説明。

### 3. 治水の経緯と下流域の水害リスク

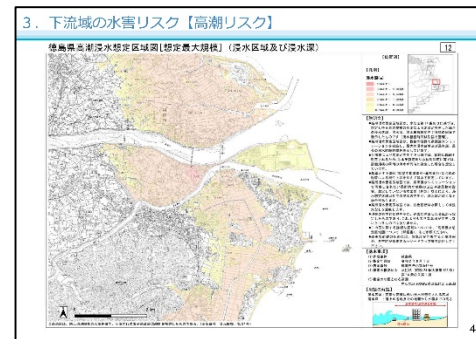
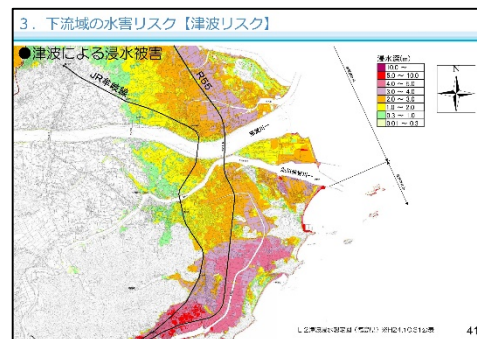
- ・下流域では、洪水だけではなく、津波や高潮による水害リスクの認識についての必要性を説明。現在の整備は、L1津波に対して実施しており、L2津波が来襲すれば浸水する可能性がある点についても説明し、地震、津波発生時には躊躇なく避難するよう注意喚起。

### 4. もし桑野川の堤防が決壊したら？

- ・浸水想定区域図や浸水ナビ、水害リスクマップ等を活用し、平時より水害リスクを認識することが重要であることを説明。



資料説明状況



説明資料

## ■勉強会で出された質問等

- ・勉強会では高潮堤防の整備や地震・津波対策に関する質問があり、現在の状況等を説明した。
- ・那賀川は日本有数の多雨地帯でありながら、濁水が多発することについて質問があり、現在の状況等を説明した。